

(仮称)羽田連絡道路



羽田連絡道路とは

羽田空港の周辺地域や京浜臨海部は、国家戦略特別区域の東京圏(以下「同特区」という)の一部として指定されています。同特区は、世界で一番ビジネスのしやすい環境を整備することにより、世界から資金・人材・企業を集める国際的ビジネス拠点を形成するとともに、創薬分野等における起業・イノベーションを通じ、国際競争力のある新事業を創出することを目指しています。

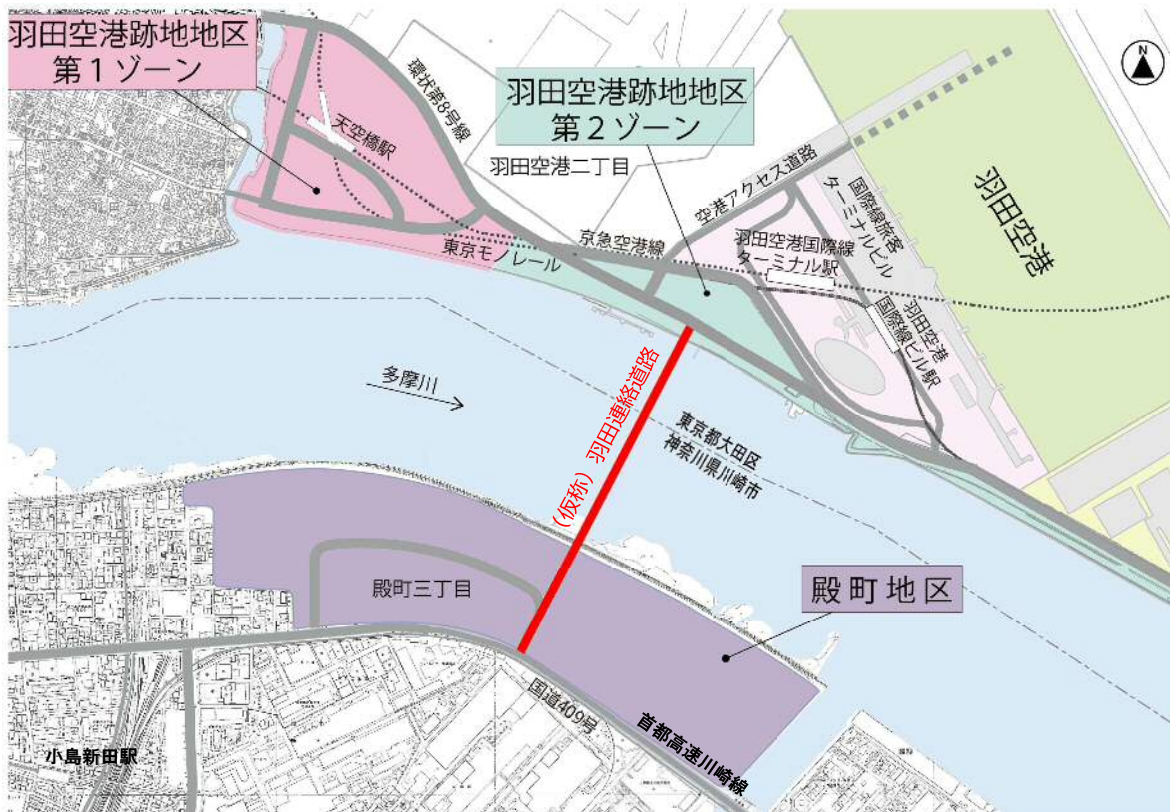
特に、羽田空港跡地地区と川崎市殿町地区は、同特区における重要なエリアであり、世界とつながる成長戦略拠点として、両地区が互いに連携していくことは、日本の国際競争力向上に大きく寄与するものです。

こうした中、平成26年9月に設置された「羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会」では、我が国の国際競争力の強化に向けて、国家戦略特別区域のプロジェクトの一環として、羽田空港周辺地域及び京浜臨海部の連携を強化し、成長戦略拠点の形成を図るため、必要な都市・交通インフラ整備等に取り組むこととしています。

(仮称)羽田連絡道路は、羽田空港を中心とした成長戦略拠点の形成を支えるインフラとして、多摩川の架橋により羽田空港跡地地区(環状第8号線)と川崎市殿町地区(国道409号)を結ぶ道路を、東京都、川崎市及び国土交通省航空局が協力して整備するものです。



位置図



事業概要

- 路線名:川崎都市計画道路殿町羽田空港線、東京都市計画道路補助線街路第333号線
- 道路延長:約840m
- 幅員:17.3m~21.3m
- 事業主体:川崎市、東京都[施行主体:川崎市]
- 経緯:平成28年12月5日 都市計画変更 告示[川崎市・東京都]
平成29年1月24日 都市計画事業 認可取得[川崎市・東京都]
平成29年6月23日 工事契約 締結[川崎市]

橋梁の特徴(渡河部)

- 多摩川河口の広がりを感じる水平基調の景観と調和し、自然環境との一体感など橋上の解放感に優れる **鋼床版箱桁橋**を選定しました。
- 貴重な河口干潟が存在する生態系保持空間を改変しないなど、河川の自然環境に配慮するため、橋脚の数を可能な限り少なくした2基とし、**3径間の橋梁**としました。
- 橋桁重量の削減や支承の省略などによる経済性や耐震性ととも、鳥類の飛翔阻害面積の抑制や圧迫感の低減を図るため、鋼上部工とRC橋脚を剛結した、桁高の抑制が可能な**複合ラーメン構造**を採用しました。



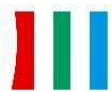
工事概要

- 工事名:都市計画道路殿町羽田空港線ほか道路築造工事
- 発注方式:設計・施工一括発注方式
- 受注者名:五洋・日立造船・不動テトラ・横河・本間・高田共同企業体
- 工期:平成29年6月23日~平成33年3月31日

案内図



お問合せ先



川崎市 建設緑政局 広域道路整備室 羽田連絡道路建設担当
〒210-0821
川崎市川崎区殿町3丁目25番25 (羽田連絡道路建設事務所)
電話 044(200)0436 FAX 044(288)1782